

參考資料 1

資料 4. 調查票

結婚・出産・子育てに関する調査票

日ごろから市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、わが国では、今後急速に人口が減少し、地域社会に大きな影響を与えることが懸念されております。このような中で、国と地方は総力を挙げて、若い世代の就労や結婚・子育ての希望をかなえることで人口減少に歯止めをかけ、安心して豊かな生活が営める地域社会を形成する、いわゆる「地方創生」に取り組むこととしております。

本市においても、人口減少を克服するために、地域の現状や課題に即した取組を積極的に進めて、地方創生を成しとげるため、今年度は、その基本計画となる「地方創生総合戦略」を策定いたします。

この調査は、その戦略に盛り込む施策を検討するための基礎となる調査で、これにより市民の皆様の結婚、出産、子育てに関する状況・意識を把握しようとするものであり、市内にお住まいの20歳から39歳までの方の中から、無作為に抽出した3,000人の方に送付しております。

個人的なことに立ちいった内容も含まれておりますが、お答えいただいた内容につきましては、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されることや他の目的に使うことはありません。なお、結果の概要については、本市ホームページ等にて公表いたします。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 27 年 5 月

鹿児島市 企画財政局 企画部 地方創生推進室

<ご記入に際してのお願い>

1 記入方法

<結婚・出産・子育て>について、あなた自身の思いや考え方に最も近いと思う回答を選び、番号を○で囲んでください。

2 返送方法

記入が済んだアンケート用紙は、同封の返信用の封筒に入れて投函してください。切手を貼る必要はありません。

3 返送期日

アンケートの回答期限は、**5月22日(金)**となっております。
ご協力をお願いします。

4 その他

この調査に関してご不明な点がありましたら、お気軽に下記の間合せ先までご連絡ください。なお、この調査は、(株)鹿児島経済研究所が鹿児島市の依頼に基づき実施しております。

【このアンケートに関する問合せ先】

調査実施： 鹿児島市企画財政局 企画部 地方創生推進室

Tel. 099-216-1507 (担当：神戸^{かんべ})

調査受託： (株)鹿児島経済研究所 企画戦略部

Tel. 099-225-7491 (担当：上加世田、森口)

問8 皆さんにお伺いします。結婚には、新しい生活への希望や期待がある一方で、どのような不安や心配があると思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 自分の仕事のこと | 2. 自分の家族のこと |
| 3. 相手の家族や親戚とのつきあい | 4. 結婚後の生活費のこと |
| 5. 結婚後の住まいのこと | 6. 結婚後の家事等のこと |
| 7. 出産や子どもを持つこと | 8. 結婚相手との相性のこと |
| 9. その他 () | |

問9 皆さんにお伺いします。若い世代で未婚・晩婚が増えている理由は何だと思えますか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 結婚の必要性を感じないから
2. 異性と知り合う機会がないから
3. 希望の条件を満たす相手にめぐり会わないから
4. 経済的に余裕がないから
5. 仕事（又は学業）に打ち込みたいから
6. 異性とうまく付き合えないから
7. 同棲でよいと思っているから
8. 結婚生活のための住居のめどがたたないから
9. 親や周囲が結婚に同意しないから
10. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
11. その他 ()

問10 皆さんにお伺いします。結婚する機会を増やすため、行政が何らかの支援をすることについて、どう思われますか。

1. 結婚しない人が増えれば少子化が進み個人の問題にとどまらないから、行政が積極的に支援すべき →問11へお進みください
 2. 個人の問題ではあるが、結婚する人が増えて少子化が抑制されるなら、行政が支援してかまわない →問11へお進みください
 3. 個人の問題について、行政が支援する必要はない
 4. その他 ()
- } 問12へ
お進みください

問11 問10で「積極的に支援すべき」「支援してかまわない」と答えた方にお伺いします。結婚の支援のため、行政が実施することが望ましい政策はどのようなものですか。次の中から選んでください。

1. 異性と知り合う機会の設定
2. 異性との付き合いや結婚にむけた相談を気軽にできる場の設定
3. 結婚生活のための住居など、経済的な助成の実施
4. コミュニケーション能力やマナー向上など具体的なスキルを学ぶセミナーの開催
5. NPOや民間事業者が行う事業への支援
6. その他 ()

問16 結婚（いわゆる事実婚の方も含みます。）している方にお伺いします。出産（配偶者などの出産を含みます。）を機に仕事を辞めた経験がありますか。

- | | | |
|----------------------|---|-----------------|
| 1. 第1子の出産を機に仕事を辞めた | } | 問17、問18へお進みください |
| 2. 第2子以降の出産を機に仕事を辞めた | | |
| 3. 仕事は辞めていない | } | 問20へお進みください |
| 4. 仕事はしていない | | |
| 5. 出産していない | | |

問17 問16で「仕事を辞めた」と答えた方にお伺いします。仕事を辞めた理由は何ですか。

1. 家庭生活（家事や子育てなど）に専念したかった
2. 仕事と家庭の両立が困難だった
3. 配偶者などが退職を望んだ
4. 職場が育児休業制度などを利用しづらい雰囲気だった
5. その他（)

問18 問16で「仕事を辞めた」と答えた方にお伺いします。仕事を辞めた後、また働き始めましたか。

- | | | |
|--------------------------|---|--------------|
| 1. 働き始めた | } | 問19へお進みください |
| 2. 働いていないが、機会があればまた働きたい | | |
| 3. 働いていないし、これからも働くつもりはない | | →問20へお進みください |

問19 問18で「働き始めた」「また働きたい」と答えた方にお伺いします。働き始める理由・きっかけは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 自分の能力や可能性をためしたいから
2. 仕事を通じて達成感を得たいから
3. 社会のために貢献したいから
4. いろいろな人や社会とのつながりを持ちたいから
5. 子どもが大きくなったから
6. 経済的な理由が発生したから
7. 友人・知人に誘われたから
8. 配偶者などから勧められたり、頼まれたから
9. 元の職場から誘われたから
10. 求人募集を見て条件が合っていたから
11. その他（)

【少子化対策全般について】

問20 皆さんにお伺いします。鹿児島市がこれから少子化対策として、どのような取組に力をいれるべきだと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 結婚につながる男女の出会いの機会創出
2. ワークライフバランス（仕事と家庭の両立）などによる働き方の見直し
3. 育児休業の取得や再就職支援など安心して働き続けられる職場環境の整備
4. 保育所や児童クラブなどの待機児童の解消
5. 病児・病後児保育、一時・休日保育の拡充など保育環境の充実
6. 保育料の軽減や奨学金制度の充実などによる経済的な負担の軽減
7. 多子世帯に対する支援の充実
8. 妊娠・出産・子育てに関する相談体制や医療体制の整備
9. 幼児教育や少人数学級などによる教育環境の充実
10. 親子等が安心して集まれる身近な場、イベントの機会創出
11. 子育て支援のための地域による見守りや子育てサークルへの支援

問21 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現するために、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。